

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場会社名 株式会社メガチップス 上場取引所 東
 コード番号 6875 URL <http://www.megachips.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高田 明
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役執行役員 財務・法務本部長 (氏名)藤井 理之 (TEL) (06) 6399-2884
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	29,481	2.4	△30	—	△146	—	△1,611	—
28年3月期第2四半期	28,781	△5.6	100	△94.4	347	△75.3	△367	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △4,807百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △274百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△75.21	—
28年3月期第2四半期	△16.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	67,541	23,367	34.5	1,086.11
28年3月期	69,921	28,846	41.1	1,341.86

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 23,323百万円 28年3月期 28,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	34.00	34.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、配当方針に基づき期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。配当金額については、中期的な経営状況の見通しを考慮の上、親会社株主に帰属する当期純利益の30%以上に相当する額を配当金総額として決定しております。現在、具体的な配当予想額は未定のため、期末配当金の予想を「—」と表記しております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	7.8	1,200	—	1,000	219.4	△800	—	△37.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規一社(社名) -

除外一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	23,038,400株	28年3月期	23,038,400株
29年3月期2Q	1,564,317株	28年3月期	1,609,450株
29年3月期2Q	21,432,896株	28年3月期2Q	22,348,950株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料については、四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における電子機器業界においては、産業用電子機器並びに電子部品・デバイスの需要が減少した結果、電子機器業界全体の市場は前年同期比減という状況で推移いたしました。

ASICにおいては、これまでの主力分野であるゲーム機器、デジタルカメラ、事務機器分野に加え、FA、ロボティクスなどの産業機器分野における国内外の有力顧客に向け、顧客の機器・サービスのアプリケーションに最適なソリューションを提供しております。その競争力は、顧客のアプリケーションに関する深い理解と独自のコア技術を基に、アルゴリズム・アーキテクチャの開発から性能・コスト競争力に優れたシステムLSIの開発・供給を、上流の論理設計から下流の物理設計、製造オペレーション、品質保証に至るまで一貫したサポート体制で提供できることにあります。

ASSPにおいては、国内外の競合企業や市場環境の変化に適応しつつ、IoT時代の到来により更なる成長を図るため、成長機器市場の有力グローバル企業に向けたビジネスを立ち上げ、事業ポートフォリオのバランスの改善に取り組んでおります。そのための施策として、IoT分野の製品を中心にプラットフォームを構成する製品の拡充を図るとともに、成長機器市場における有力グローバル企業とのビジネス関係を更に緊密にし、重点的にグローバルに通用人材の育成を図りつつ、収益構造の転換を積極的に進めております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主に液晶パネル向けLSIの需要が減少したものの、ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)の需要が増加したことにより、売上高は294億8千1百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。また、海外企業の買収に伴うのれん及び無形固定資産の償却費が13億2千6百万円発生し、償却前の営業利益は12億9千6百万円、償却後の営業損失は3千万円(前年同四半期は1億円の営業利益)、経常損失は1億4千6百万円(前年同四半期は3億4千7百万円の経常利益)となり、特別損失として投資有価証券評価損が10億1百万円発生し、親会社株主に帰属する四半期純損失は16億1千1百万円(前年同四半期は3億6千7百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、中長期の成長分野として取り組んでいるSmart Connectivity(DisplayPort)及びMEMSタイミングデバイスの両事業は順調に進捗しており、引き続き成長軌道に乗せるべく取り組みを進めております。

当社グループは単一の事業セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は675億4千1百万円(前連結会計年度比23億7千9百万円の減少)となりました。主要な項目を前連結会計年度と比較すると、受取手形及び売掛金が51億5千5百万円増加した一方で、現金及び預金が26億7千6百万円、のれんが33億4千4百万円、技術資産が12億4千4百万円それぞれ減少しております。

負債合計は441億7千3百万円(同30億9千9百万円の増加)となりました。主要な項目を前連結会計年度と比較すると、支払手形及び買掛金が50億8千6百万円、1年内返済予定の長期借入金が30億円それぞれ増加した一方で、長期借入金が40億円減少しております。

純資産は233億6千7百万円(同54億7千9百万円の減少)となりました。この結果、自己資本比率は34.5%(同6.6ポイントの下降)となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、80億7千5百万円となり、前連結会計年度に比べ26億5千6百万円の減少(前年同四半期は27億9千3百万円の減少)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、15億1千3百万円の資金の獲得(前年同四半期は1億6千万円の資金の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が11億4千7百万円(前年同四半期は3億7千4百万円の利益)となり、売上債権が54億5千2百万円の増加となった一方で、減価償却費が9億5千5百万円、のれん償却額が8億4千8百万円、投資有価証券評価損が10億1百万円それぞれ発生し、仕入債務が53億1千9百万円の増加となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、28億1千8百万円の資金の使用（前年同四半期は30億3千5百万円の資金の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が6億7千9百万円、無形固定資産の取得による支出が13億8千6百万円、投資有価証券の取得による支出が2億2千1百万円あったことによるものであります。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合算したフリー・キャッシュ・フローは、13億4百万円の資金の使用（前年同四半期は28億7千4百万円の資金の使用）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億1千3百万円の資金の使用（前年同四半期は2千6百万円の資金の獲得）となりました。これは短期借入金の純増減額が7億1千1百万円の増加となった一方で、長期借入金の返済による支出が10億円、配当金の支払額が7億2千4百万円あったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月29日に公表いたしました「平成29年3月期第1四半期決算短信[日本基準]（連結）」に記載の平成29年3月期の連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,949,946	8,273,825
受取手形及び売掛金	13,358,667	18,514,121
商品及び製品	2,019,432	1,847,089
仕掛品	2,092,163	1,977,410
原材料及び貯蔵品	1,006,713	1,094,318
繰延税金資産	1,146,507	1,111,934
その他	1,440,013	1,134,147
貸倒引当金	△4,145	△5,216
流動資産合計	32,009,297	33,947,631
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,932,407	3,922,884
減価償却累計額	△2,996,991	△3,029,671
建物(純額)	935,415	893,212
その他	8,937,809	9,290,933
減価償却累計額	△6,781,369	△6,862,921
その他(純額)	2,156,440	2,428,012
有形固定資産合計	3,091,855	3,321,225
無形固定資産		
のれん	17,478,244	14,134,205
技術資産	6,106,168	4,861,445
その他	2,957,620	3,847,973
無形固定資産合計	26,542,032	22,843,625
投資その他の資産		
投資有価証券	1,173,226	814,019
長期前払費用	3,086,797	2,786,264
繰延税金資産	1,461,001	1,469,880
その他	2,569,001	2,370,683
貸倒引当金	△11,508	△11,508
投資その他の資産合計	8,278,517	7,429,340
固定資産合計	37,912,406	33,594,191
資産合計	69,921,704	67,541,822

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,242,223	9,328,923
短期借入金	13,394,730	13,760,670
1年内返済予定の長期借入金	2,000,000	5,000,000
未払法人税等	337,595	740,812
賞与引当金	555,981	447,425
工事損失引当金	4,689	49,477
その他	3,611,510	2,797,962
流動負債合計	24,146,731	32,125,271
固定負債		
長期借入金	13,000,000	9,000,000
繰延税金負債	2,507,079	1,986,163
その他	1,421,011	1,062,531
固定負債合計	16,928,091	12,048,694
負債合計	41,074,823	44,173,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,840,313	4,840,313
資本剰余金	6,181,300	6,181,643
利益剰余金	18,950,506	16,610,026
自己株式	△2,030,200	△1,973,268
株主資本合計	27,941,919	25,658,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△599,967	42,341
為替換算調整勘定	1,412,620	△2,377,776
その他の包括利益累計額合計	812,653	△2,335,435
非支配株主持分	92,308	44,576
純資産合計	28,846,881	23,367,856
負債純資産合計	69,921,704	67,541,822

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	28,781,193	29,481,947
売上原価	20,129,970	22,002,731
売上総利益	8,651,222	7,479,216
販売費及び一般管理費	8,551,051	7,509,311
営業利益又は営業損失(△)	100,170	△30,094
営業外収益		
受取利息	4,644	2,472
投資事業組合運用益	18,160	—
未払配当金除斥益	3,698	3,296
為替差益	315,832	—
雑収入	5,873	4,430
営業外収益合計	348,209	10,198
営業外費用		
支払利息	78,462	73,348
投資事業組合運用損	—	988
為替差損	—	44,886
雑損失	22,033	7,591
営業外費用合計	100,495	126,814
経常利益又は経常損失(△)	347,884	△146,709
特別利益		
投資有価証券売却益	59,647	—
特別利益合計	59,647	—
特別損失		
固定資産除却損	33,294	—
投資有価証券評価損	—	1,001,076
特別損失合計	33,294	1,001,076
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	374,236	△1,147,786
法人税等	796,377	503,520
四半期純損失(△)	△422,140	△1,651,306
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△367,007	△1,611,894
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△55,133	△39,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△292,789	642,308
為替換算調整勘定	440,907	△3,798,717
その他の包括利益合計	148,117	△3,156,408
四半期包括利益	△274,023	△4,807,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△228,151	△4,759,984
非支配株主に係る四半期包括利益	△45,871	△47,731

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	374,236	△1,147,786
減価償却費	1,051,506	955,358
のれん償却額	1,006,435	848,111
長期前払費用償却額	562,139	354,187
賞与引当金の増減額(△は減少)	△189,036	△108,555
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△259,897	44,787
受取利息及び受取配当金	△4,644	△2,472
支払利息	78,462	73,348
投資有価証券売却損益(△は益)	△59,647	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,001,076
売上債権の増減額(△は増加)	316,524	△5,452,238
たな卸資産の増減額(△は増加)	△399,923	△92,098
仕入債務の増減額(△は減少)	1,199,295	5,319,602
その他の資産の増減額(△は増加)	248,395	444,940
その他の負債の増減額(△は減少)	△3,281,262	△368,247
その他	77,859	12,800
小計	720,444	1,882,815
利息及び配当金の受取額	4,721	2,633
利息の支払額	△71,116	△78,387
法人税等の還付額	703	354
法人税等の支払額	△494,480	△294,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	160,272	1,513,187
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	36,403	202,792
定期預金の預入による支出	—	△201,017
有形固定資産の取得による支出	△554,417	△679,009
無形固定資産の取得による支出	△886,228	△1,386,674
投資有価証券の売却による収入	65,517	—
投資有価証券の取得による支出	—	△221,381
長期前払費用の取得による支出	△1,164,555	△257,561
貸付けによる支出	△14,926	△7,937
その他	△516,922	△267,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,035,130	△2,818,052
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	711,640
長期借入れによる収入	3,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,416,670	△1,000,000
配当金の支払額	△756,811	△724,872
その他	—	46
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,518	△1,013,186
現金及び現金同等物に係る換算差額	54,533	△338,548
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,793,804	△2,656,599
現金及び現金同等物の期首残高	13,028,308	10,732,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,234,503	8,075,761

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。